

## 柱立て1 大学入学共通テストについて

(1) 「大学入学共通テスト」の実施をはじめとする、入試改革全般の改善効果について伺います。

- a 学力の3要素を多面的・総合的に評価する今回の入試改革は、各大学の個別選抜の改革も含め、改善効果が期待できる
- b 英語民間試験の導入延期や「大学入学共通テスト」への国語・数学の記述式問題導入の見送りなど、今回の入試改革における課題は多く、改革趣旨を十分に生かすことは難しいと思われるため、現状では改善効果は期待できない
- c どちらともいえない
- d わからない

(2) 令和3年度大学入学者選抜で初めての大学入学共通テストが実施されました。その結果も踏まえてご回答ください。

① マークシート問題では、新たな出題形式が実施されました。そのことについて伺います。

- a 従来よりも受験生の「思考力・判断力・表現力」を評価することができたと思う
- b 従来よりも受験生の「思考力・判断力・表現力」をそれほど評価できたとは思わない
- c どちらともいえない

② 大学入学共通テストにおける国語・数学の記述式問題の導入が見送られました。このことについて伺います。

- a 記述式問題の導入には課題が多かったため、見送りは評価できる
- b 出題内容や採点方法を工夫するなどして、受験生の「思考力・判断力・表現力」を測るための大学入学共通テストへの記述式問題導入を再度検討するのがよい
- c どちらともいえない

③ 国語の記述式問題の導入見送りの結果、「国語総合」は試験時間が100分から80分に短縮され、「近代以降の文章」の内容は、論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章から2問が出題されました。このことについて伺います。

- a 国語の記述式問題の導入見送りの結果として、「近代以降の文章」の内容は、論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章の中から2問を出題するのが適当である
- b 記述式問題の導入が見送られたため試験時間は短縮すべきだが、「近代以降の文章」の内容は、論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章から各1問、計3問出題するのがよい
- c 記述式問題の導入は見送られたが、試験時間を短縮せずに、「近代以降の文章」の内容は、論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章から各1問、計3問出題するのがよい
- d いずれともいえない

④ 数学の記述式問題の導入は見送られましたが、数学①の試験時間は70分のまま変更されませんでした。このことについて伺います。

- a 数学①の試験時間は70分のままが適当である

- b 数学①の試験時間は60分に戻すのがよい
- c 数学①の試験時間は70分のままとし、数学②の試験時間も70分とするのがよい
- d 60分でも70分でもよいが、数学①と数学②の試験時間を同じにすべきである
- e わからない

(3) 英語においては、4技能を適切に評価できる民間の資格・検定試験を活用することで、英語の能力をバランスよく評価することを目指してきましたが、大学入学共通テストの枠組みの中で実施する民間の資格・検定試験の導入は延期されました。

- ① これまで全高長は、大学入学共通テストの枠組みの中で実施する民間の資格・検定試験について様々な課題を指摘してきましたが、結果として課題解決の見通しが立たずに導入が見送られました。このことについて伺います。
  - a 導入の延期は評価できる
  - b 導入の延期は評価できない
  - c どちらともいえない
- ② 大学入学共通テストの枠組みの中で実施する民間の資格・検定試験の導入は延期されましたが、大学入学共通テストの英語の出題範囲は、「リーディング」と「リスニング」に変わりません。このことについて伺います。
  - a 英語の出題範囲は、「リーディング」と「リスニング」のままでよい
  - b 大学入学共通テストの中で、4技能を測る工夫をするのがよい
  - c 4技能を測ることは大切なので、共通テストは「リーディング」と「リスニング」のままとしながら、各大学が個別試験の中で残りの2技能を課すようにするのがよい
  - d いずれともいえない
- ③ 「大学入試のあり方に関する検討会議」の議論を踏まえ、改めて大学入学共通テストの枠組みで英語の民間資格・検定試験を導入することについてどのようにお考えですか。
  - a 大学入学共通テストの枠組みでは、英語の民間資格・検定試験の導入を推進した方がよい
  - b 大学入学共通テストの枠組みでは、英語の民間資格・検定試験の導入は断念することにより
  - c どちらともいえない
- ④ 一般選抜で英語の民間資格・検定試験を活用することについては、どのようにお考えですか。
  - a 公平・公正性や格差解消等の課題解決の見通しは立たず、一般選抜での英語の民間資格・検定試験の活用も現状では控えた方がよい
  - b 一般選抜でも英語の民間資格・検定試験を活用するにあたっては、何らかのルールを設けるのがよい
  - c 大学の判断で、自由に活用するのがよい
  - d いずれともいえない
- ⑤ 今後、英語の民間資格・検定試験の活用を推進するとしたら、安心して高校生が民間の資格・検定試験を受検するための環境づくりのために、解決しなければならない課題は何であると考えますか。  
(複数回答可)
  - a 経済格差・地域格差の解消
  - b 試験の公平性・公正性の確保

- c 学習指導要領との整合性
  - d 異なる試験間を比較する仕組み（CEFR 対照表の科学的な裏付け等）
  - e 学校における英語教育
  - f 特に課題はない
  - g その他 →（具体的にご記入ください）
- ⑥ 学校における英語の民間資格・検定試験に向けた指導について伺います。
- a 学校として、何らかの形で民間の資格・検定試験の受検に向けた指導をしている
  - b 学校としては、民間の資格・検定試験の受検に向けた指導をしていない
  - c 学校として、何らかの形で民間の資格・検定試験の受検に向けた指導を計画していたが、共通テストの枠組みでの導入が見送られたので取りやめた
  - d いずれともいえない
- ⑦ 英語の民間資格・検定試験の大学側の活用方法について伺います。
- a 一定水準以上を出願資格として活用するのがよい
  - b 得点化（みなし満点も含む）して大学入学共通テストの英語の成績に加点するのがよい
  - c 得点化（みなし満点も含む）して個別試験の英語の成績に加点するのがよい
  - d 各大学・学部の特徴に応じて、大学側が自由に活用すればよい
  - e いずれともいえない
- ⑧ 今後の、大学入学共通テストにおける英語の試験の在り方について伺います
- a 民間の資格・検定試験に頼らず、大学入学共通テストの中で英語試験を継続的に実施した方がよい
  - b 大学入学共通テストの中では英語の試験を行わず、全面的に民間の資格・検定試験の利用に移行するのがよい
  - c 民間の資格・検定試験に頼らず、大学入学共通テストのみで4技能を測るのがよい
  - d いずれともいえない
- ⑨ 大学入試における、英語の4技能評価と民間資格・検定試験の活用についてのご意見があればご記入下さい。

（4）今年3月に大学入試センターから、「平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した令和7年度大学入学共通テストからの出題教科・科目について」が示されました。このことについてお伺いします。

- ① 新たに、必修科目「情報Ⅰ」の内容を『情報』として出題することが示されました。このことについて伺います
- a 大学入学テストに『情報』を追加することに賛成である
  - b 大学入学テストに『情報』を追加することの必要性は理解するが、一部の高校では指導体制が整っておらず導入は時期尚早である
  - c 大学入学テストに『情報』が必要だとは思わない
  - d いずれともいえない
- ② 現在、多くの国立大学では国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語の6教科から「5教科7科目」が課されています。新たに、『情報』が加わり7教科が出題されることとなりますが、このこ

とについて伺います

- a 国立大学では、『情報』を含めた「6教科8科目」を原則とするのがよい
  - b 「6教科8科目」は受験生の負担になるので、受験生の実態に合わせて各大学が受験科目を選択するのがよい
  - c 大学入学テストに『情報』が必要だとは思わない
  - d いずれともいえない
- ③ 「数学」では、これまでの『数学Ⅱ・数学B』に代わり、『数学Ⅱ，数学B，数学C』が出題されることになりました。『数学Ⅱ，数学B，数学C』については、「受験者の学習負担を考慮し，数学B及び数学Cの内容のうち，3項目を選択解答させることとする」とされています。このことについて伺います。
- a 新たに「数学C」が加わることは受験生や学校の負担を増大させるので、賛成できない
  - b 数学に関するより広範な素養が求められるようになったことなどから、「数学C」が加わることは止むを得ない（消極的賛成）
  - c 数学に関するより広範な素養が求められるようになったことなどから、「数学C」が加わることに賛成である（積極的賛成）
  - d いずれともいえない
- ④ これまでの『数学Ⅱ・数学B』に代わり、『数学Ⅱ，数学B，数学C』が出題されることで、教育課程編成にどのような影響がありましたか。
- a 特に大きな影響はない
  - b これまで履修していなかった文科系の生徒等が履修可能となるよう教育課程を編成した（または、今後変更する）
  - c これまで履修していなかった文科系の生徒等が履修可能となるよう教育課程を編成したいが、全体の単位数が足らず困っている（検討中）
  - d いずれともいえない
- ⑤ 「地理歴史」では、大学・学部によっては地理歴史に関するより広範な素養が求められることから、必修科目「地理総合」と選択科目「地理探究」を、必修科目「歴史総合」と選択科目「日本史探究」及び「世界史探究」を、それぞれ組み合わせて『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』及び『歴史総合，世界史探究』の3科目が出題されることとなりました。このことについて伺います。
- a 必修科目と選択科目を組み合わせて出題することでよい
  - b 必修科目1科目での受験を可能とするのがよい
  - c どちらともいえない

## 柱立て2 新しい大学入学者選抜について

(1) 新しい大学入学者選抜について伺います。

- ① 総合型選抜、学校推薦型選抜において、各大学が実施する評価方法等（小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテストなど）又は「大学入学共通テスト」の少なくとも

もいずれか1つの活用を必須化されたことについて伺います。

- a 何らかの形で、受験生の学力を問うことを必須とした点で、大変評価できる
- b 多くの大学の入試の実施状況を見ると、きちんと履行されていないと思うので、評価できない。
- c どちらともいえない

② 小論文・プレゼンテーション・集団討論・面接など選抜方法の多様化に対する高校側の指導体制の整備について伺います。

- a 現行の教育課程においても、対応できている
- b 現行の教育課程においては、時間的な余裕や教員の指導力などの課題があり、十分な指導ができていない
- c 小論文・プレゼンテーション・集団討論・面接などは高校で指導していない（する必要を感じない）
- d いずれともいえない

③ 総合型選抜や学校推薦型選抜に向けた指導について伺います。（複数回答可）

- a 総合型選抜や学校推薦型選抜に対応する力を育成するために、探究活動やコンクール参加などの活動を充実させ、その指導を強化している
- b 総合型選抜や学校推薦型選抜に対応する力を育成するために、「総合的な探究の時間」の内容を見直している
- c 総合型選抜や学校推薦型選抜に対応する力を育成するために、主体的な活動を促す指導の在り方を検討している
- d 総合型選抜や学校推薦型選抜に向けた特別な指導はしていない
- e いずれともいえない

(2) 大学入学者選抜では、学力の3要素を多面的・総合的に評価することが求められています。そのことについて伺います。

① 学力の3要素を多面的・総合的に評価するための、生徒の特長や個性、多様な学習や活動を記録する環境の整備としてどのようなことを予定または行っていますか。（複数回答可）

- a 民間の電子ポートフォリオ
- b 県独自の電子ポートフォリオ
- c 学校独自の電子ポートフォリオ
- d 紙媒体のポートフォリオ
- e 「JAPAN e-Portfolio」の運営停止を受けて、環境整備を中断または停止した
- f 特にしていない

② 生徒の主体的な活動実績等に対して、大学から高等学校に証明が求められる場合があります。このことについて伺います。

- a 可能な限り、高等学校が証明するのがよい
- b 調査書に記載する事項については、高等学校が証明するのがよい
- c 必要な情報は、大学自らが受験生から直接収集して確認するのがよい
- d いずれともいえない

- ③ 一般選抜における多面的・総合的な評価の活用について伺います。
- a 大学の判断で、自由に活用するのがよい
  - b 一般選抜で生徒の多面的・総合的な評価を活用するにあたっては、公平・公正性の確保や格差解消のために、何らかのルールを設けるのがよい
  - c 生徒の主体的な活動等の多面的・総合的な評価を活用するにあたっては、公平・公正性の確保や格差解消の見通しは立たず、一般選抜では学力検査を主とするのがよい
  - d いずれともいえない
- ④ 多面的・総合的な評価の活用にあたっては、教育の機会均等の観点から不安の声もあります。以下の中から、課題となると考えられるものを選んでお答えください。(複数回答可)
- a 経済力による教育機会の格差
  - b 地域による教育機会の格差
  - c 家庭環境による教育機会の格差
  - d 学校間の教育機会の格差
  - e わからない
- ⑤ 大学入試における多面的・総合的な評価について、高校側としてご意見がございましたらご記入ください。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日及び試験実施上の配慮等について伺います。

- ① 令和3年度の大学入学共通テストでは、本試験の2週間後に追試験(第2日程)、さらにその後に特例追試験が設けられました。このことについて伺います。
- a 新型コロナウイルス感染症による学業の遅れに対して適切な対応であった
  - b そもそも新型コロナウイルス感染症による学業の遅れに対する配慮は必要なかった
  - c 大学入学共通テストの日程だけ遅らせても、2次試験や私立大学の日程を遅らせなければ意味がなかった
  - d いずれともいえない
- ② 令和3年度の大学入学共通テストでは、追試験の会場を全47都道府県に設置しました。令和4年度の大学入学共通テストについて伺います。
- a 引き続き令和4年度も全47都道府県に追試合場を設けるのがよい
  - b 今後の感染状況によっては、ブロックごとの試験会場など必ずしも全47都道府県に追試合場を設ける必要はない
  - c 追試合場は従来と同じ2会場(東京・大阪)でよい
  - d わからない
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策を契機に、総合型選抜、学校推薦型選抜において、オンライン入試等が拡大しています。高校側の協力体制の在り方について伺います。
- a 通信環境の整わない生徒がいる場合は、高等学校の施設・設備を使用させてもよい
  - b 個別の大学の入試に対して、高等学校の施設・設備を使用させることはできな

- c 指定校推薦の場合など、個別に判断する
- d わからない

④ その他、新型コロナウイルス感染症対策に伴う配慮等について、高校側としてご意見がございましたらご記入ください。